

2020年9月18日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

## 「ESG投資に関する意識調査」について

野村アセットマネジメント株式会社(CEO兼代表取締役社長:中川順子、以下「当社」)は、このたび、「ESG投資に関する意識調査」を実施しました。

野村グループは、サステナブルな社会の実現と社会的課題の解決のため、ESGに関連する活動に積極的に取り組んでいます。昨今、環境・社会問題などに対する意識が高まり、証券投資においてもESG投資<sup>※1</sup>への注目が集まっていることから、今回の意識調査によって個人投資家や投資未経験層におけるESG投資に対する関心度などを分析しました。

調査概要は以下のとおりです。

【調査対象】:18歳以上69歳までの男女10,937名を対象にインターネットで実施

【調査結果の概要】:

- ESG投資に関する意識調査で、全体の3割(以下「ESG投資関心層」)が関心ありと回答。年代を問わず、関心ありとの回答が約3割を占め、世代を超えたESG投資への関心が見て取れる。
- 株式あるいは投資信託を現在保有する人の5割強が、ESG投資に関心を示している。また、今後証券投資に関心があると回答した人のうち、約6割がESG投資に関心を持っており、ESG投資がさらに拡大する可能性がある。
- ESG投資関心層は、「E・環境問題」、「S・社会問題」、「G・企業のあり方<sup>※2</sup>」のうち、特に環境問題に注目している。またSDGs(持続的開発目標)のうち、健康・福祉や貧困問題などに高い関心を示す。
- 投資信託を保有する確定拠出年金(DC)制度加入者の約3割が、ESG投資を行う意向を示しており、DC制度におけるESG投資の取り組みが広がるものとみられる。
- 資産運用について、ESG投資関心層はESG投資に関心を持たない層に比べて、「自分の投資が何に役立ったかを知りたい」、「運用益はなるべく社会の役にも立てたい」と回答する比率が高い。

当社は、今回の調査結果を、今後の資産運用・資産形成を支援するために必要な情報や投資商品の提供に役立てるとともに、調査を継続的に実施することで資産運用業界の取り組みの一助としていきます。

調査方法や調査結果の詳細は、当社ホームページをご参照ください。当社ホームページには、過去のアンケート調査結果も掲載しています。

<https://www.nomura-am.co.jp/corporate/surveys/>

- ※1 財務情報だけでなく、Environment(環境)・Social(社会)・Governance(ガバナンス)の要素も考慮した投資。
- ※2 ESG投資における「G」は本来、ガバナンスを意味しますが、当調査では「企業のあり方」として表現しています。

以上